

平成29年度 水道事業会計決算概要



水道事業の会計は、事業経営に伴う収益的収支と、施設の改良事業に要する資本的収支から構成されています。

平成29年度における収益的収支の収入額は23億5,046万4千円、支出額は19億3,211万2千円となりました。

また、資本的収支の収入額は6億9,414万7千円、支出額は14億4,142万9千円となりました。

問／水道経営課 ☎462-3366

(平成30年3月31日現在)

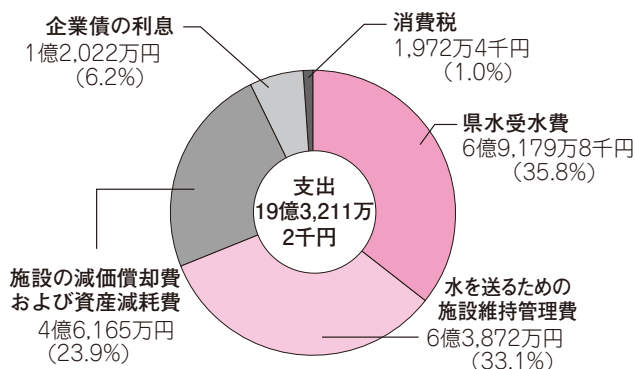
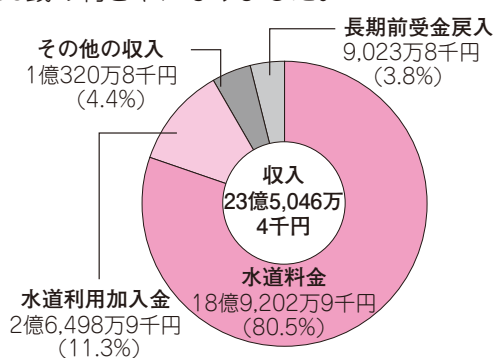
給水人口	13万8,721人
給水普及率	100.0%
年間総給水量	1,558万6,492m ³
1日最大給水量	4万8,271m ³
1日平均給水量	4万2,703m ³

●収益的収支 (事業経営に伴う収入と支出)

収益的収入は、その約92%が水道料金と水道利用加入金で占められています。

また、支出は、その約36%を県水受水費が占め、そのほかは水を送るための施設維持管理費、施設の減価償却費などとなっています。

1 m³の水を皆さんにお届けするための供給単価は税込で135円15銭でした。これに対し給水原価は127円35銭で、7円80銭の利ざやになりました。

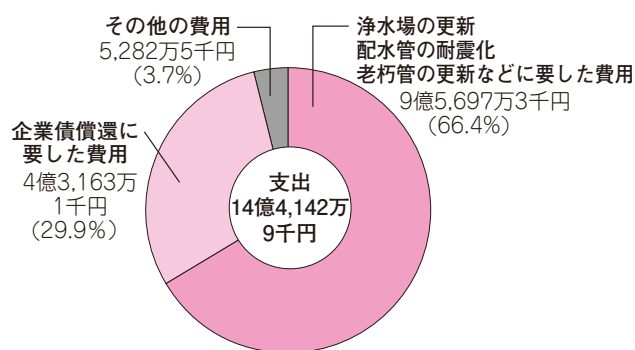
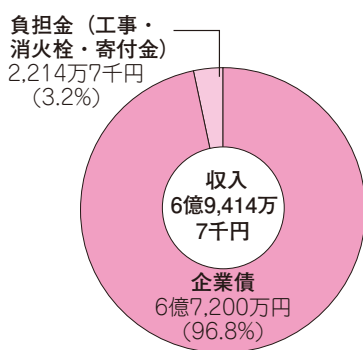


●資本的収支 (施設の改良事業に要する収入と支出)

資本的収入は、企業債が約97%を占め、そのほかは負担金となっています。

また、支出は、浄水場更新事業、配水管耐震化・老朽管更新事業や、企業債の償還などとなっています。

資本的収支における差引不足額は、損益勘定留保資金 (収益的支出の現金支出を伴わない資金) などで補てんしました。



●水道事業経営

◎公営企業

水道事業は独立採算制で運営しています。事業経営に必要な費用は、市民の皆さんからいただく水道料金などの事業収入によって賄われています。

◎効率的経営

各種電算システムの活用や検針・収納等の業務を民間委託するなど効率的な事業経営に努めています。

◎安全な水を安定して供給するために

毎月水質検査を実施するとともに、災害等の緊急事態にも対応できるよう施設の整備事業を計画的に進めています。

